

# 山梨大学 留学生 センターニュース

no.4  
2008  
APR

## 2007年度の新たな取り組み

留学生センター長 奥村圭子

2007年11月現在、山梨大学の留学生数は202名となり、学生総数に占める割合は4.23パーセントに及んでいます。留学生センターは、2003年4月の設置以来、これらの留学生に対する日本語・日本事情教育、そして就学上及び生活上の指導や助言、海外留学を考える学生に対する助言と指導、その他学生交流の推進を目的として運営されています。留学生がより快適に山梨大学生活に馴染み、勉学に勤しむことができるよう、そして日本人学生や地域の方々に留学生との交流の機会を多く持っていただくよう、教育の国際化にも取り組んでいます。2007年度も学長をはじめ、本学執行部の先生方の留学生交流に対してのご理解とご支援、そして他大学からご助言を頂きながら、無事に一年を終了することができました。

2007年度は、上記の目的を達成するため、2006年度末から新たにスタートしたいいくつかの事業に取り組みました。

留学生のサポート役をしてくれる日本人チューターの指導に力を入れ、チューター制度がより機能するよう整えました。医学部キャンパスでは、研究支援のための統計学補講を工学部からの参加も得て2回実施しました。また留学生の文化体験の機会を増やそうと、地域の太鼓グループの協力により和太鼓体験セッションを、また本学内の先生方にご協力を頂き、書道・華道体験を企画しました。地域交流に関しては、ホーム・ステイやホーム・ビジットを年に2度行ない、留学生と地域のご家族との交流が促進されました。また、日本での就職を希望している留学生に向けて就職支援のためのセミナーや講演会を開くとともに、留学生の皆さんがどのような進路を希望しているかの調査を行ないました。今後調査結果を基に、よりニーズに合った支援が可能となるでしょう。学生の短期留学派遣の面では派遣を促進すべく、学内TOEFLの実施を開始しました。今後も年に4回のペースで実施し海外留学を身近なものと感じていただきたいと願っています。

留学生センターでは、留学生センターの活動の報告をセンターニュースやセンター紀要・年報で発信し、ウェブ・ページの充実も図り、情報提供をして参る所存です。皆様のご理解を頂きながら、更なる充実を図る努力して参ります。忌憚のないご意見やご助言をよろしくお願いしたい次第です。



# 留学生関連の諸行事とニュース (2007年度)

## 実地見学旅行 (8月8日～8月9日)

今年度の実地見学旅行は、8月8、9日に京都へバスで行きました。一日目は、清水寺、二条城、南禅寺を見学し、日本の古い建築物の風情を楽しみました。なかなかのハードスケジュールでしたが、ホテルの夕食が美味しくて皆すっかり元気を取り戻しました。二日目は、天龍寺見学後、船頭さんが漕ぐ舟に乗って保津川を遊覧しました。水辺はとても涼しくて優雅な気分を味わいました。最後は念願の金閣寺へ。暑かったけれど楽しい旅でした。



## 第9回たべもの異文化交流会 (8月21日)

医学部と中央市の共催による地域交流イベント「第9回たべもの異文化交流会」が、8月21日に医学部キャンパス国際交流会館において開催されました。

今年は夕立もなく好天に恵まれ、留学生はそれぞれの母国料理を紹介してくれました。ベトナムの生春巻きや中国の火鍋のように日本でもなじみのあるものや、モンゴルのガムビルシュタインのように名前を聞いただけではわからないものなど盛りだくさんでした。

中央市の代表の方々によってなすの田楽、のり巻きなど日本料理も加わり、「これは何? どうやってつくるの」と会話が弾みました。また、大正琴の演奏や餅つき、スイカ割り、花火も一緒に楽しみました。

地域の中で、このように留学生と地域の方々が理解し合うことによって、よりよい信頼関係を築いていけるようにと毎年夏に開催されている異文化交流会ですが、今年も関係者約200人の参加があり、有意義な時間が過ぎました。



## 留学生の統計講座 (8月・12月)

総合分析実験センターの中本和典先生のご協力を得て、留学生を対象とした統計講座が、医学部キャンパス看護学科教育棟2階の情報処理室で開かれました。基礎編(8月28、29日実施)では、大学院学生10名が参加し、基本統計と平均値の検定を学習しました。また、応用編(12月19、20日実施)では、大学院学生12名が参加し、統計ソフトJUMP INを使用して、平均の出し方など簡単に操作法を学んでから、相関と重回帰分析について学習しました。わかりやすいと参加者の皆さんから好評でした。

## 京都国際文化協会エッセーコンテスト 劉 譔さん入賞

第30回京都国際文化協会エッセーコンテスト《私の見た日本》において、工学部3年の劉譔さんの日本語のエッセーが「京都国際文化協会賞」に選ばれました。受賞者は日本語のエッセーの部3人、英語のエッセーの部3人でした。授賞式と発表会は、9月23日に京都大学で行われました。入賞した劉さんのエッセーは「チームワークの心」という題名で6000字の大作です。こんなに長い文章を日本語で書くのは初めての経験だったそうです。内容は、日本のゆとり教育やいじめ問題について意見を述べ、日本と中国の教育には大きな違いがあるけれども、山梨大学の授業でチームワークの大切さを学んだことがとてもよい経験になったというものです。

劉さん、おめでとう！



## 第4回 やまなし 大学スピーチコンテスト (11月24日)

11月24日にやまなし大学スピーチコンテストが山梨大学赤レンガ館で開催されました。県内大学で学ぶ留学生25人が日本語のスピーチ部門に、6人がポスター部門に参加しました。今回のスピーチのテーマは「わたしの好きなこと」「旅の思い出」「家族の絆」の中から一つを選び7分間のスピーチを発表しました。発表者一人一人がそれぞれの思いをスピーチにしており、全てのスピーチが大変聴き応えのあるものでした。話し方や身振りなども工夫が凝らされていました。一位は山梨大学大学院の羅佳さんで、わたしの好きなこととして習っているお琴のおもしろさを伝えてくれました。年々成長し続けるこのコンテスト、来年度はどんな感動を共有できるか楽しみです。



## 学長主催 留学生懇談会 (12月6日)

貫井英明学長主催の留学生懇談会が甲府キャンパス学生会館にて催され、留学生、教員、県内国際交流関係の来賓の方々など、約200名の参加がありました。学長による留学生に対する期待と国際交流の意義深さを語る挨拶の後、来賓の方々のご挨拶が続き、その後交流を深める会となりました。留学生のスピーチ、踊り、歌なども披露され、学内関係者だけではなく、学外の方々と留学生の交流も深めることができました。



## 留学生餅つき地域交流会 (12月8日)

甲府市岩窪町の地域住民の方々と留学生との交流会が、国際交流会館にて行われました。同会館は甲府キャンパスに通う留学生のための宿舎で、岩窪町にあります。

地域住民の方々のご指導の下、杵と臼を使っての餅つきを体験し、その場でつくたてのお餅と留学生が用意した各国料理をいただきました。その後、皆が輪になったの盆踊り、獅子舞保存会による舞と演奏を楽しみました。留学生は恥ずかしがってなかなか盆踊りの輪に入れなかったのですが、地域の方々が暖かく迎え入れてくださったおかげで、最後は一つの輪になりました。

毎年秋から冬にかけて行われるイベントですが、今回は約100名の参加があり、お互いの国のことを食文化と踊りを通して知ることができました。



## 第13回外国人留学生等研究発表会 (3月10日)

医学部キャンパスにおいて留学生及び外国人研究者による研究発表会が行われました。医学領域から9名、工学領域から2名、教育学研究科から1名、計12名が、約60人の聴衆に対して日頃の研究の成果を堂々と発表しました。この会のすばらしい点は、研究領域の枠を超え、学術交流と意見交換が活発になされるところにあります。今後、この発表会に日本人学生のフロアー参加も呼びかけていきたいです。

# 留学生センターの取り組み

## INTERNATIONAL STUDENT CENTER

### 日本語・日本事情教育

#### ■ 学部留学生対象 日本語・日本事情教育

学部留学生を対象とする日本語授業は、これまで「初中級」、「中級」、「中上級」、「上級」クラスが開講されていましたが、2007年度はプレゼンテーションスキルを向上させることに特化した「日本語演習」を開講しました。また、日本人学生と共に日本の文化や社会などについての理解・知識を深めるための「日本事情」や異文化理解を深める「異文化間コミュニケーション」も開講しています。

#### ■ 日本語補講

本学に在籍する日本語が十分でない留学生や研究生を対象に、補講として入門レベルから論文作成レベルの日本語のクラスを開講しています。2008年度は5月7日から開講します。  
(甲府キャンパス：週に3コマ 医学部キャンパス：週に5コマ)

### 留学生指導相談・文化交流

#### ■ 留学生相談室

各教員のオフィスアワーの他に、週3コマ、留学生の勉学・生活上の様々な相談に応じる時間を設けています。

#### ■ チューター制度

主に入学1年目の留学生に日本人学生が個々について、大学生活や勉学上の援助・補助を行うチューター活動に対し、指導・支援を行っています。具体的には、前期・後期の各学期初めにチューター説明会を開くほか、学期半ばにはチューター同士の意見交換の場を設けたり、毎月の活動報告に対するフィードバックを行うなどしています。チューターに対する指導・支援を通じ、間接的に留学生の援助にあたっています。

#### ■ ランチ会

毎週火曜日のお昼休みに、留学生と日本人学生がお昼を持ち寄り、気ままなおしゃべりで交流を楽しんでいます。いつでも誰でも予約なく参加できますが、毎週の時間を楽しみに来る‘常連さん’がほとんどです。

#### ■ 就職支援

日本での就職を希望あるいは検討している留学生を対象に、前期は5月21日に本学進路支援室の職員による就職ガイダンス、後期は12月5日に本学のキャリアアドバイザーと東京外国人雇用センターの方による就職セミナー、そして2月12日には県内外企業の人事担当者による就職講演会を開きました。留学生を対象とした就職活動の仕方や採用のポイントなどのお話は、留学生にとって日本での就職をより身近で現実的に捉えるいい機会となったことと思います。

#### ■ ホーム・ステイ/ビジット

昨年度に引き続き、今年度は前期（6月30日～7月1日）と後期（2月9日～10日）にそれぞれ一回行いました。普段なかなか地域の人と交流する機会が少ないであろう留学生にとって、地域の日本のお宅を訪問し日本人の家族と触れ合う一時は、日本での貴重な経験となったようです。



## 日本語研修コース

留学生センターでは、2007年度も集中的に日本語を学ぶ二つの研修コースを開講しました。

入門から初級レベル向けの研修コースⅠは前期と後期に週12コマ、そして初中級から中級のレベル向けの研修コースⅡを後期にのみ週9コマ、いずれも15週に亘って提供しました。研修コースでは、ひらがなとカタカナ、そして基本漢字200を習得、日本語の基本的なコミュニケーションができることを到達目標としています。研修コースⅡでは、読み書きを軸とする中級レベルの言語スキルを身につけると、自己開発能力を高めることを目標としています。

後期の研修コースⅠとⅡの合同の成果発表会が2008年2月15日に行なわれました。受講生14名が、日ごろの勉強の成果をプレゼンテーションの形にして発表し、活発な意見交換や質疑応答が交わされました。勉強を始めた頃からは想像をできないほどの上達振りに、指導の先生方からも大きな拍手が上がりました。

続いて行なわれた研修コース修了式では、黒澤幸昭副学長にご挨拶を頂き、指導教員の先生方もご列席くださり、修了者一人ひとりに修了証が手渡されました。受講生からは、コースを修了した喜びとクラス活動の楽しい思い出、そして留学生センターへの謝辞などが述べられました。



〔前期開講式写真〕



〔後期開講式写真〕

## 日本文化・山梨文化体験講座

留学生センターでは毎年、日本文化、山梨文化を体験する機会を設けています。国際交流・異文化理解のために、留学生のみならず日本人学生にも参加を呼びかけて行っています。

### ●ぶどう狩り、ワイン造り体験(10月)

山梨県内のワイナリーにて、ぶどう狩り、甲州葡萄のワイン造りを行ないました。昔ながらの足踏みによるぶどう搾りを、みんなおっかなびっくり体験しました。

### ●昇仙峡 紅葉狩り(11月)

日本一の渓谷美と紅葉を楽しみに昇仙峡へ。秋の山梨の自然を満喫しました。

### ●日本酒蔵開き見学(2月)

甲州街道の宿場町として栄えた台ヶ原宿に位置する「山梨銘醸」の「七賢 酒蔵開放」にお邪魔して、日本酒の醸造工程を見学し、出来立ての日本酒を試飲。今まで「日本酒はちょっと…」と言っていた留学生も、「初めておいしさがわかりました!」と喜んでいました。



### ●和太鼓体験(1月)

山梨県を中心に活動している和太鼓グループのご協力による、和太鼓体験。基本となるリズムを刻むのも本当に難しいですが、伝統音楽に触れるいい機会となりました。

### ●華道体験(2月)

本学華道部の協力による生け花の体験は、今回で2回目になります。この体験から華道に興味を持ちはじめ、継続している学生もいるそうです。

### ●書道体験(2月)

本学国語教育講座 宮澤正明先生のご協力により書道を体験しました。「習字」ではなく「書道」を短時間に体験し、次の学期に教育人間科学部の「書道」を履修する学生も多数います。



# 学生の声

## 私の第二の故郷、山梨 レイチェル・リム Rachel Lim シドニー工科大学より、山梨大学に1年交換留学

私はオーストラリアで日本語と日本文化を勉強していましたし、日本を旅行したこともありましたが、しかし、留学して日本に住んで日常生活を実際に体験することは、授業で勉強することや日本を旅行することとは比べ物になりませんでした。

留学する前は、甲府はもとより、山梨のことさえ聞いたことがありませんでしたから、「甲府はどんなところかなあ」と思っていました。でも、甲府に着いて、最初から山梨の魅力を感じました。山梨は都会ではありませんが、コミュニティの人々に連帯感や助け合いの精神があります。

山梨に住んでいる間に、全国から来た日本人と世界中の様々な国から来た外国人と交流することができました。また、新しい友達ができたり、様々な所に行ったり、いろいろな活動に参加することもできました。さらに、大学の優しい先生達のおかげで、日本語を勉強することができただけでなく、もちつき大会に参加することができたり、日本酒の醸造所や京都へ行くといったことも体験できました。

留学生活はあっという間に過ぎましたが、オーストラリアに帰っても、この一年の間に経験したことと出会った人のことを忘れません。

山梨はいつまでも私の第二の故郷です。



## これまでの留学生活 ジョン・マスタース Jon Masters オックスフォード・フルックス大学より、山梨大学に1年交換留学

私は2007年10月に甲府に来ました。その時、国際交流室の方、先生、そして学生も駅まで迎えに来てくださいました。その甲府に来た最初の日は、自分が思っていたよりもずっとすばらしくて、私は本当にびっくりしました。

初めて日本に来たので、しばらくは全部が面白そうで、よく「イギリスとは全く違う！」と言っていました。しかし、日本の生活に慣れてきた頃から、日常の事がだんだん簡単になって、生活が忙しくなりました。しかも、日本語の先生のおかげで、日本語も習えば習うほど面白くなってきました。

甲府の最初の印象は「静かな町」でしたが、山梨県は自然にあふれ、きれいで面白い所がいっぱいあり、また東京までそう遠くないので、ここに住むのは本当に楽しいです。また、毎日友達や知り合いに会えるから、留学生活はさびしくありません。それにここにいる間に、日本人の家族に会う機会が何回かありました。皆が思いやりのある人で、暖かい歓迎を受けました。

もう日本に来て半年になりますが、時間がとても早く過ぎました。残りの半年も楽しみです。



## オックスフォード・ブルックス大学の 夏季英語研修とイギリスでの旅体験

工学部 コンピュータ・メディア工学科 2年 内藤 航

オックスフォード・ブルックス大学のサマー・スクールにおいて3週間、私は多くの国の人と一緒に授業を受け、とても有意義な時を過ごした。その授業内容は、ショッピングや旅行で使う基本的な英会話をゲームやロールプレイを交えながら行ったり、また結婚や休日の過ごし方についてディスカッションやプレゼン



をしたりなど多岐にわたっていた。特にディスカッションでは日本とイギリスだけでなく、ほかの国の考え方も知ることができよい刺激になったと思う。先生方もとても親切で、授業後の質問などにも丁寧に答えてくださった。授業の後には毎日、パーティーや市内観光などのソーシャルプログラムが組まれていて、有名なクライストチャーチを見に行ったり、サッカーをしたりと、他国からの留学生や日本の他大学の学生とたくさん交流するよい機会が持てたのも良かった。寮も広く清潔で快適だったので、そこでもまた、同じフラットの人たちと一緒にご飯を食べるなどして交流ができた。

オックスフォードの歴史を感じる町並みは美しく、空き時間に街を散歩するだけでも刺激的で、いい気分転換にもなった。サマー・スクール終了後には山梨大学から同じサマー・スクールに参加した5人で計画していた旅行へ出かけた。スコットランドやヨークなどを周り、日本では見ることのできない町並みや風景と出合い、様々な人と関わることでとてもよい経験をすることができた。サマー・スクールに参加することで、イギリスだけでなくほかの国の人達と交流することで様々な文化の違いや考え方を知ることができたことが私の中では一番の収穫だった。この1カ月を終えて、もっと英語を勉強してみたくなったおかげで今でも英語の勉強が続いている。この語学研修に参加でき本当に貴重な異文化体験ができたと思っている。



夏季英語研修は、内藤さんが参加した英国オックスフォード・ブルックス大学のほかに、米国イースタン・ケンタッキー大学でも行われています。皆さんもぜひ参加してみてください。詳しくは国際交流室（055-220-8373）まで。

他に、1年間の短期留学もあります。

# 留学生 センター 教員



センター長  
奥村 圭子  
kokumura@  
yamanashi.ac.jp  
055-220-8152



高田谷 久美子  
kumikot@  
yamanashi.ac.jp  
055-273-8289



仲本 康一郎  
055-220-8272



伊藤 孝恵  
takaei@  
yamanashi.ac.jp  
055-220-8753



江崎 哲也  
esakit@  
yamanashi.ac.jp  
055-220-8752

## 2008年度(平成20年度) 前期 日本語関連授業時間割

|                               | 月                           | 火                                   | 水                          | 木                        | 金                          |
|-------------------------------|-----------------------------|-------------------------------------|----------------------------|--------------------------|----------------------------|
| <b>I</b><br>8:45~<br>10:15    |                             | 初中級 I A (奥村)                        |                            | 中級 I B (伊藤)<br>上級 I (仲本) |                            |
| <b>II</b><br>10:30~<br>12:00  | 日本事情 I (伊藤)<br>研修 I (江崎)    | 研修 I (伊藤)                           | 日本語演習 A (江崎)<br>OH (奥村)    | 研修 I (江崎)<br>OH (仲本)     | 研修 I (奥村)                  |
| <b>III</b><br>13:00~<br>14:30 | 研修 I (江崎)<br>OH (伊藤)        | 研修 I (伊藤)                           |                            | 研修 I (江崎)<br>OH (伊藤)     | 中級 I A (仲本)<br>研修 I (奥村)   |
| <b>IV</b><br>14:45~<br>16:15  | 研修 I (二宮)<br>OH (江崎)        | 研修 I (伊藤)<br>OH (高田谷)               |                            | 研修 I (江崎)                | 研修 I (奥村)                  |
| <b>V</b><br>16:30~<br>18:00   | 甲府・補講 (井上)                  | 異文化 A (奥村)<br>甲府・補講 (岡部)<br>OH (伊藤) | 初中級 I B (江崎)<br>中上級 I (奥村) |                          |                            |
| <b>VI</b><br>18:15~<br>19:45  | 甲府・補講 (井上)                  |                                     | 医学部・補講 (二宮)<br>18:00~19:30 |                          | 医学部・補講 (二宮)<br>18:00~19:30 |
| <b>VI 以降</b>                  | 医学部・補講 (高田谷)<br>19:00~20:30 |                                     | 医学部・補講 (二宮)<br>19:30~21:00 |                          | 医学部・補講 (二宮)<br>19:30~21:00 |

OH: オフィスアワー

## 4月以降の予定 .....

- 4月 2日 (水) 9:00~10:30 留学生向けガイダンス (新入生向け) 場所: Y-11  
 10:30~12:00 日本語プレイスメント・テスト 場所: Y-11  
 13:00~ キャンパスツアー
- 4月 9日 (水) 10:00~ 日本語研修コース (大学院入学前予備教育) 開講式
- 4月15日 (火) 前期授業開始
- 5月 7日 (水) 日本語補講開始  
 (受講希望者は国際交流室に4月28日までに申し込むこと)

## 山梨大学留学生センター

〒400-8510 甲府市武田4-4-37  
 TEL 055-220-8047/8373  
 MAIL yu-study-abroad@yamanashi.ac.jp

山梨大学 留学生センターニュース

2008年3月21日 印刷  
 2008年4月 1日 発行